

世界に向けて新たな一歩を

経営者出前授業 中野支部

中野支部（会長＝麻沼雅海・アサヌマコーポレーション社長）は8月31日、区内中小企業経営者が小中学校に赴き授業を行う「世界を舞台に活躍する人になろう！～経営者出前授業」を開催した＝写真。

グローバル社会で活躍する人材の育成が求められる中、小中学生が海外展開を行う地元企業経営者の講義を聴き、世界で活躍する職業観を醸成することを目的に実施。東商中野支部とリエゾン・デートルの共同で運営している。初回となる今回はファシリテーターの同社社長酒井由紀子氏と、ゲストスピーカーの宮治通信工業社長の宮治

誠人氏が大妻中野中学校を訪問し、約240人の生徒に90分間の講演を行った。

酒井氏は、働くことの意義や、グローバル人材になる上で必要な能力について解説。自分の能力を生かして世界で働くためには、文化の違いを理解し受け入れることが重要で「海外に出る際は事前に現地調査を行い、環境変化に対応してほしい」と語った。

宮治氏は創業から現在までの歩みや、ミャンマーへの海外展開の経験を中心に講演。現地の実情や、現地仕様にアレンジした製品の事例を紹介した。その上で、エールとして「色々な



人との関わりを大切にし、新たな一歩を踏み出してほしい」と述べた。

生徒からは「世界と関わるのが当たり前という意識を持つと思った」「将来の進路を考えるきっかけになった」などの声があった。

授業を終えた宮治氏は「生徒の反応が大変良く、自身を見つめ直す良い機会にもなった」と感想を語った。

本事業は今後、区立鷺宮小学校、江原小学校などで継続して展開予定。

中野支部 ☎3389・1241